

◆ はあねすとは？

～福祉サービスを利用したい方・迷ったり悩んだりしている方たちへ～

【はじめに】

はあねすに来られた方の最初の反応や感想は実に様々です。「来る前は緊張したけど気楽に話せたわ」「もっと早く来たらよかった」という肯定的な感想から、「サービス利用って時間かかるんやね」や「手続きがややこしくてチンプンカンプンやわ」といった声もあります。福祉に携わる者は、困っている人がいたら何らかの支援に繋がって幸福に暮らしてほしいと願っています。しかし、相談支援などの情報が一部にしか浸透していないのが実情です。この『ひこうせん』をたまたま手に取り「相談してみようかな？」と思う人が1人でもいたら、嬉しくラッキーなことだと思って原稿を書いています。

はあねすは、大まかに2つの相談事業を行っています。

1. 特定相談支援

障害福祉サービス（ホームヘルプ・グループホーム・日中活動事業所など）が適切に利用できるよう、その人の希望や生活環境などを考慮してサービス等利用計画を作成します。サービス利用に向けての調整や利用開始後の継続的見守りも行います。サービスを利用するには、

- ①市の窓口（障害福祉課）に相談し、支給申請を行います。
- ②申請後、認定調査票に基づき、調査員が聴き取り調査を行います。利用したいサービスによっては、主治医の意見書も必要です。
- ③調査の判定が出たら、サービス等利用計画案を作成、そして計画書の内容を勘案し、支給が決定されます。

手続きの進み具合で、申請から実利用までに数ヶ月以上かかることもあります。紙面の都合上、簡単な説明になってしまいましたが、詳しく知りたい方ははあねすまでお問い合わせください。

2. 障害者相談支援

地域に暮らす障害者に対し、福祉サービスの利用に限らず生活上の広い相談に応じる役割を持っています。些細なことでも気楽に相談してください。はあねすでお応えするのが難しい場合には、他の専門機関の紹介や支援の引継ぎを行います。

摂津障害者生活支援センターはあねす

TEL:072-638-5151 住所：摂津市香露園34-2（摂津交流センターバクの家内）

開所時間：月曜日～金曜日 9時30分～18時

【おわりに】

人間は誰でも自分の人生の主人公です。夢を実現するのも課題を解決するのも、どんな生き方をしたいか選ぶのも自分自身です。はあねす相談員が「あなたはこのサービスを使って、ここで暮らしたいらいい」なんてことは絶対に言いません。では何をするのか？夢や目標が見つからずモヤモヤしている人がいたら、モヤモヤした気持ちを聞きます。「ただ聞くだけ？」とがっかりされるかもしれませんが、人に話すことで自分の気持ちが見えてくることもあるかもしれません。「夢はあるけど実現させる方法がわからない」という人がいたら、どんな手立てがあるか一緒に考えます。「1人で成し遂げるのは大変」という場合は、応援者探しのお手伝いをします。1人1人が自分で結論を導き出すのを待ち、困った時は一緒に悩んで考えるのがはあねすの相談スタンスです。3名の相談員がお待ちしております。

はあねすの活動コーナー

集まってみよう会は、障害当事者の方々が交流できるような機会を作ろうと平成23年から開始しました。現在の参加者は、平日は事業所へ通所している方や自宅で過ごしている方、遠方の施設で暮らしているけど休日は実家で過ごす方などです。毎月第4日曜日に開催しており、ボランティアさんや制作の先生に来てもらい、写真にあるような創作活動や食事会などをして交流を深めています。

普段は昼食をとりながら各々近況を話したりして和やかに落ち着いた雰囲気です。話すことが苦手な方、集団が苦手な方も参加されており自分のペースで作品作りを楽しまれています。また、毎年12月には集まってみよう会の活動を地域の方々に紹介できるように、1年間で作成した作品を展示する作品展を開催しています。毎年多くの方々にご来場いただき、参加者自身が作品の紹介をしながら交流の機会を作っています。

気軽に参加していただけますので興味のある方はぜひ参加してみてください。参加ご希望の方は、はあねすまでご連絡ください。

